

4月19日

スマホをオフに、絵本を持って

お母さんのための絵本講座(キッズプラザ)

絵本を通して親子のコミュニケーションの大切さを学ぶ講座。「スマートフォンやタブレットの普及による絵本離れが進む中、改めて子どもたちに絵本を読んであげて」という言葉が印象深く、子どもたちもご機嫌な様子でした。



▲ゆったり学ぶ親子の時間



◀初めての絵本に興味津々

取材：市民レポーター 竹重稔也



4月23日

見て触って、季節を味わう

季節の花を楽しむ寄せ植え(市民体育館)

黄色いヒナギクや青いデルフィニウムなど、春の花々を1つの鉢に植える寄せ植えを体験しました。配置のバランス、彩りやボリュームなど、知恵と工夫が必要な奥深い作業。体験を通して友達になったという参加者もいました。



同じ花でも個性いろいろ



▲寄せ植えの極意をレクチャー



◀高さやバランスを微調整

取材：市民レポーター 河村共之



5月1日~8日

300年以上続く伝統行事

のざきまいり

(野崎観音(慈眼寺)など)

参道にはたくさんの露店が並び、おいしそうにフランクフルトなどを頬張る子どもや、ゲームを楽しむ人たちが大にぎわい。境内では、手品や大道芸、東京大衆歌謡楽団による昭和初期の名曲ライブなどがあり、昔懐かしい音楽に思いをはせました。

アクティブ・スクウェア・大東では、野崎プロレスが行われ、さまざまなパフォーマンスに観客は大興奮でした。



②

▲4日に行われた野崎プロレス



◀種も仕掛けもない手品にくぎ付け



③

▲ライブを聞きに遠方からファンが駆け付けました



取材：市民レポーター 河村共之、竹重稔也、辻本虎雄
(写真①) (写真②) (写真③)

4月13日

大東市を菜の花でいっぱい

菜の花の植え付け
(市内各地)

「野崎参りは屋形船でまいる」で知られる『野崎小唄』。その歌詞の中にある「どこを向いても菜の花ざかり」を再現しようと、市民学芸員の皆さんが栽培を行いました。来年、もっとたくさんの菜の花が咲く景色を見るのが、今から楽しみです。

取材：市民レポーター 森川安生



来ぶらり四条▶



▲J R野崎駅前



4月26日

ハッピーバースデー

4月生まれの誕生会
(野崎中公園)

みんなで歌を歌って誕生月の子をお祝いした後は、かけっこ、玉転がし、玉入れなど元気いっぱい体を動かす子どもたち。自分よりも大きな玉を一生懸命転がす様子に、お母さんもニコリ。笑顔があふれる1日になりました。



▲大玉ころころ〜



◀両手に持ってやる気満々!

4月21日

今夜はたけのご飯かな!

堂山タケノコほり大会
(堂山竹林)

春の味覚のタケノコを収穫しようと、約200人が大集合。今年は収穫量が少なくなるという予想を覆す結果に大満足の参加者。だいたい森づくりクラブのサポートもあり、初めての人も楽しく収穫できました。



▲テコの原理を使って…えいっ!

取材：市民レポーター 森川安生



取材：市民レポーター 小野由香里

